動画教材解説シート

No. 17

協働学習 するときに

#60秒情報モラル

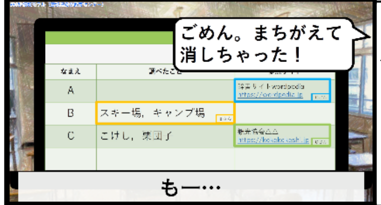
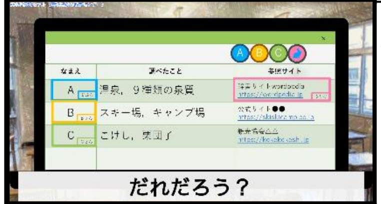
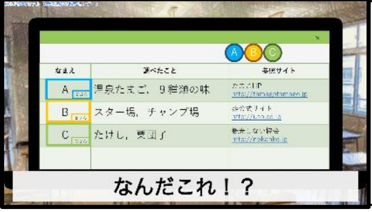
キーワード

#共同編集
#セキュリティ
#情報流出

この動画の活用に当たって

クラウドサービスの中には同時編集が可能なものがあります。効率的に作業できるだけでなく別々の場所にいても作業できる良さもあります。しかし，同時に編集するということは，自分の誤操作が他者に影響することでもあります。間違いは誰にでもあることや，間違ったときにどうするかを考えておくとよいでしょう。また，必要に応じて共同編集するユーザーや閲覧できるユーザーを限定するなど，アクセス権限を付与する対象を設定して，情報流出や部外者によるデータの改変などを防ぐことも大切でしょう。

動画はこちら

動画の流れ		気付かせたいことの目安 ★（小1～3）	★★（小4～6）	★★★（中1～高3）	□ 補足・解説 ◆ StepUp アクティビティ
	授業での課題について先生が話している。				
	一緒に活動するグループのメンバー2人とあいさつする。				◆ 共同編集できるソフトを使い，〇〇についてまとめてみよう。
	Aさんの入力内容をBさんが誤って消してしまう。Bさんはすぐに元に戻す。		□ 間違えて他の人のデータを消す可能性があるから作業は慎重にする。	□ 間違えて他の人のデータを消してしまった場合に復元できるようにしておくとよい。	□ 共同編集ができるソフトの場合，変更履歴があるので，変更履歴をたどって復元するということも可能です。
	グループのメンバーではない他のユーザーがログインしてくる。	□ 知らない人が参加した場合は先生に言う。		□ まったく見知らぬユーザーが参加できる設定になっていることはセキュリティが十分ではない。	◆ 共同編集ができるファイルを作成し，共有範囲の種類や設定方法を確認しよう。
	他のユーザーにAさんの入力したデータを書きかえられてしまうが，そのままにしている。		□ なりすましをされて書きこまれる可能性がある。		□ 共同編集ソフトは，リアルタイムで編集することによって，チャットやSNSのような利用ができます。テキストコミュニケーションなどのSNSに関わる情報モラルも意識することが必要でしょう。
	そのまま終わりにしていたら，入力した部分が全く違うものに変えられていた。	□ 他の人のデータは勝手に変えない。		□ 情報の持ち出しの可能性がある。 □ 共有の設定の見直しや確認をする。	□ 編集可能な期限を設定することも大切です。必要に応じて共有の設定を見直すことも必要です。また，もとのファイルを改変されないように，情報として見せたい場合は，PDFなどに出力することも考えられます。